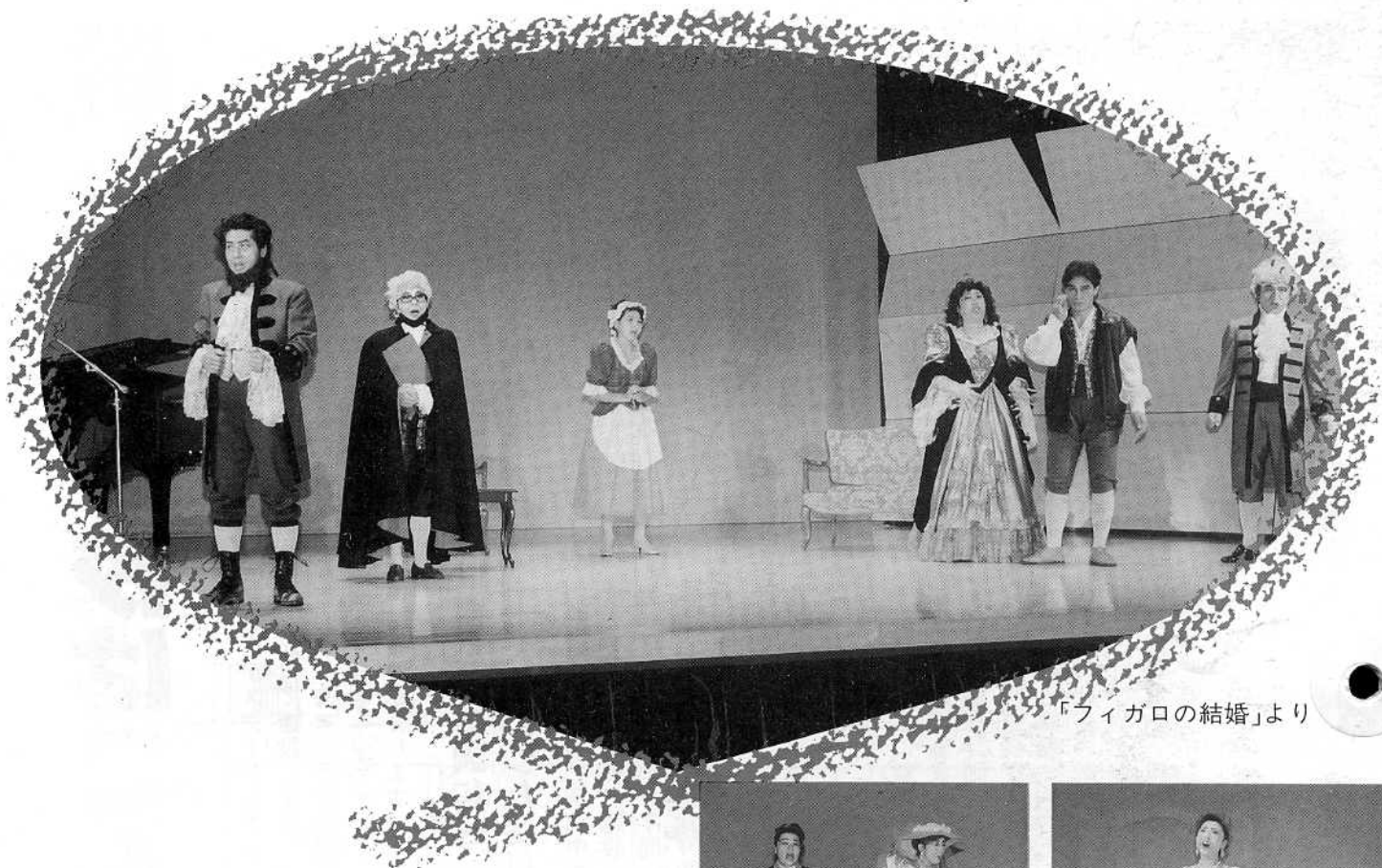




「フィガロの結婚」より

オペラ 村に歌劇がやって来た

10月16日、はなのき会館で「ふるさと・ふれあいコンサート」が開かれました。

このコンサートは、「花」「待ちぼうけ」、「赤とんぼ」など誰でも知っている歌の独唱やピアノの演奏とミニオペラ「フィガロの結婚」までまさに本格的。村内外から集まった300人を超える皆さんは、格調高い「文化の秋」を楽しみました。



ふるさと・ふれあいコンサート

広報 ひがししらかわ

1994 11 No.401
平成6年

人口の動き

世帯数	907	世帯
人口	3,399	人
転入	2	人
転出	12	人
出生	1	人
死亡	4	人
先月と比較して13人減		
昨年と同月と比較して50人減		

新しい中学校はこんな学校です。

この十月から東白川中学校の改築工事がスタートしました。場所は、現在の校舎の西側で約八億円をかけて建設します。去る十月二十五日には起工式が行われ、来年八月に完成し、九月一日からは、新校舎での授業が開始される予定です。基本計画図を基に新しい東白川中学校を紹介します。

自然との調和を 大切にしたい造り

昭和二十四年、新制中学校制度の開始に合わせて建設され、昨年度までの四十五年間に四千四十八人の卒業生を送り出した東白川中学校。純木造で作られたこの校舎から、数々の伝統が生み出されてきましたが、校舎の老朽化は避けられず、また教育内容が多様化してきたため、そうしたことに対応できる施設が求められてきました。

村の「総合計画」にも、こうした「声」を受け、中学校改築は急がれる課題の一つとして平成七年、八年の二か年で実施することになっていましたが、国の景気対策の一環として、予定より一年早く、このほど実施することになったのです。

新しく建てられる中学校は、

鉄筋コンクリート三階建てになります。また、屋根は、これまでに建てられた「せせらぎ荘」や「はなのき会館」と同様に耐久性を考慮し、景観に合わせた瓦葺き。内装も「明るさ、温かさ」を基調として、廊下や壁などには、村の特産である木材をふんだんに使った造りとなる予定です。

一階に特別教室を配置 自慢はパソコン教室

新しい中学校は、次ページの平面図のように普通教室五室に加え、各種特別教室が十室設けられるほか職員室や相談室、各準備室などで構成されます。この配置の特徴は何といっても一階部分に図書室や木・金工室、調理室などの特別教室を集中させたことです。

中学校改築にあたっては、これまでに村議会や教育委員会、教職員、PTAなどの間で何度も検討を重ね、その結果「開かれた学校」という目標が盛り込まれました。学校教育の場としてだけでなく、夜間や休日などには、社会教育の場として広く村民にも活用していただけるように配慮したものです。

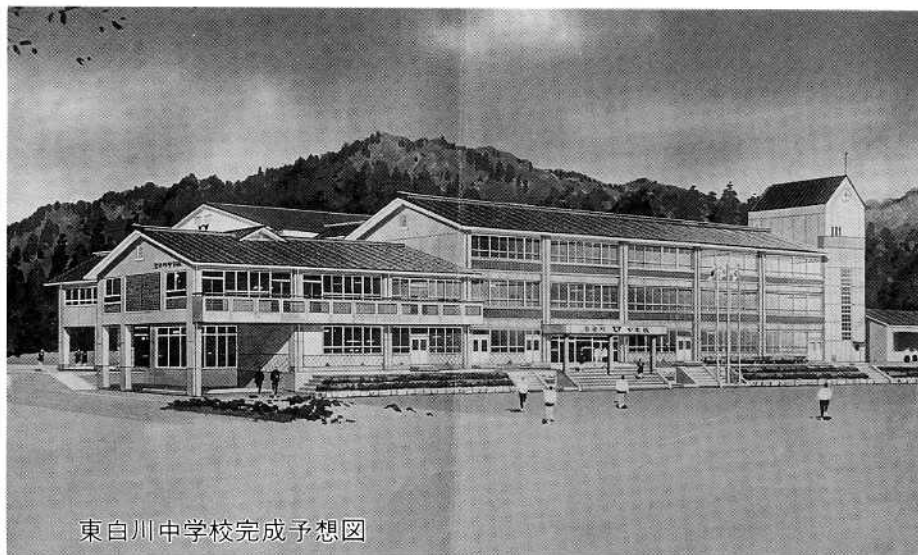
また、校舎の東側には非常階段を利用した塔屋ができます。モダンな造りの塔屋は、中学校のシンボルタワーと

なるのではないだろうか。

新しい中学校には、これまでにはない機能があります。三階にあるパソコン教室です。現在県内には、中学校が二〇一校ありますが、このうちほとんどの学校にはコンピューター専用の教室が設けられています。今やさまざまな職場で活躍するパソコンは、現代生活に欠くことはできません。この教室はパソコン専用の特別教室として今後生徒たちの活用に大きな期待が寄せられます。また、教室ごとに暖房設備も完備されるなど、新しい中学校は、学習の場として大きく生まれ変わります。なお建物は、来年七月末までに完成。八月中に備品の搬入を行い、二学期から授業は開始の予定です。引き続き現校舎を解体し、その跡地に、平成八年三学期からの使用予定でランチルームの建設も始まります。

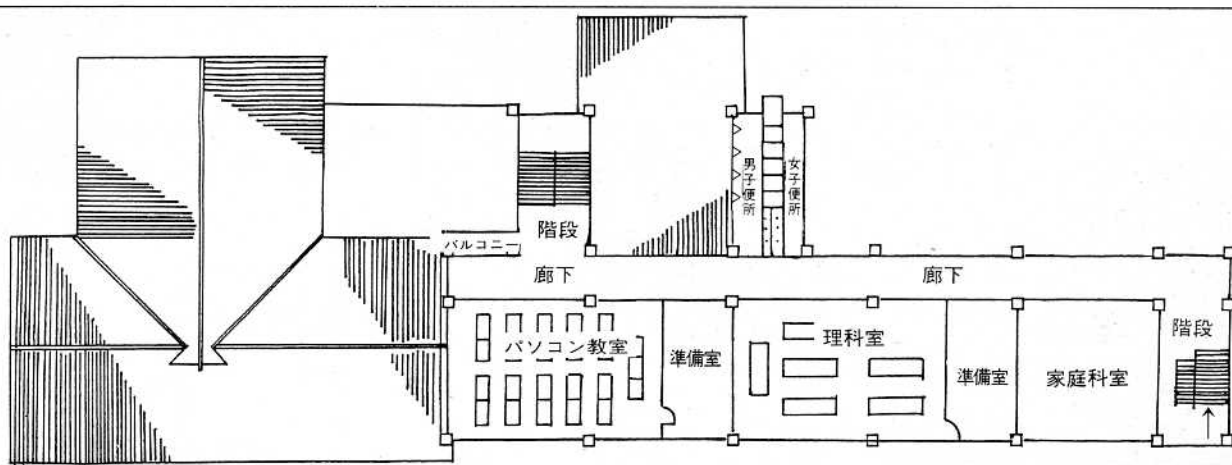


現校舎の跡地はランチルームに

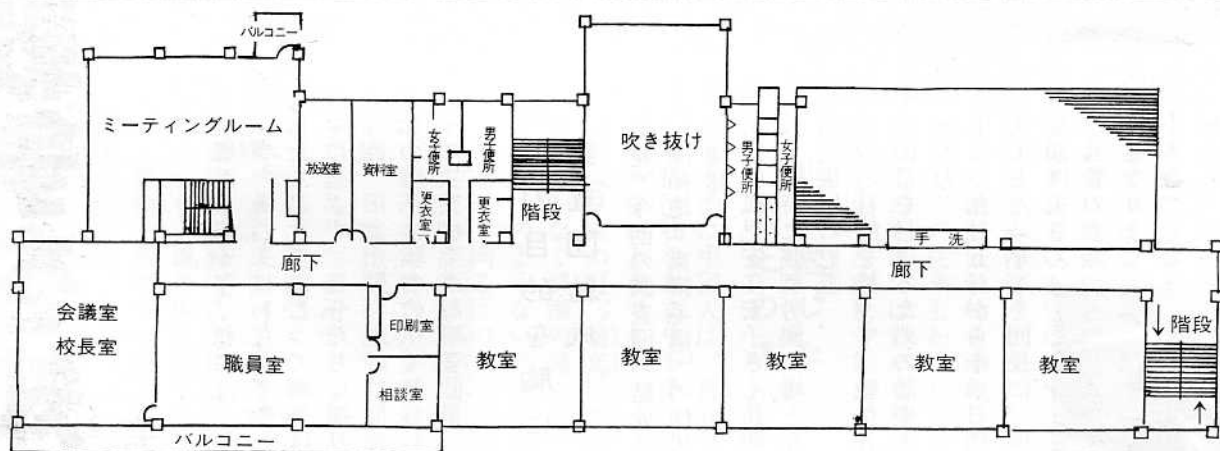


東白川中学校完成予想図

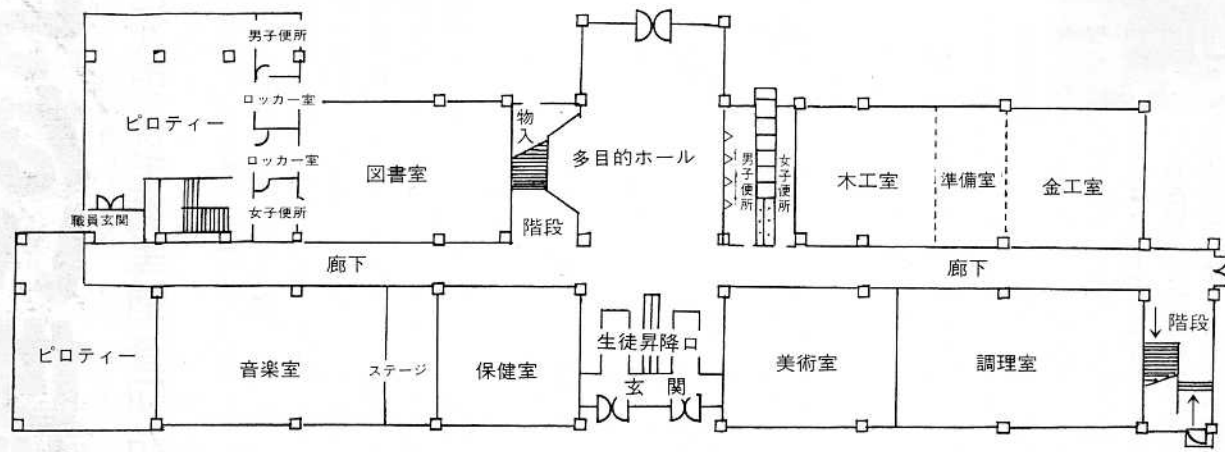
3階平面図



2階平面図



1階平面図



ひとこと

こんな学校にしたい

神戸将成さん(中学2年生・平)
新しい校舎には、これまでなかった特別教室も作られるので、そこでの活動が今から楽しみです。今までの校舎以上に大切に使用していかなければならないと思います。

安江佳美さん(中学2年生・大明神)
今の校舎は、作られて四十五年もたっている古い建物ですが、先輩たちが素晴らしい伝統を残してくれました。この校舎は解体されてもその伝統は新しい校舎に受け継ぎたいと思います。

こんな学校にしたい

安江朋希さん(中学3年生・上親田)
僕たちは、新しい校舎には入れません。しかし今の校舎でこれまでに伝えられた、歌や掃除など良い伝統を守ってきました。新しい校舎でもこうした伝統を守り、伝えていって欲しいです。
安江伸予さん(中学3年生・神付)
今校内で、クリーンアップ委員会づくりを進めています。これは校舎を美しく保っていくための委員です。新しい校舎に入る皆さんには、今まで以上に校舎を大切にしたいと思っています。



前列左から 安江朋希さん
安江伸予さん
後列左から 安江佳美さん
神戸将成さん

戦争を知らない世代の満州

第2次東柳毛溝等調査団訪中記（前編）

終戦から五十年。村には「平和祈念館」、「満州開拓の碑」と戦争の「爪痕」を将来にわたって残していくための施設ができました。私たちの世代にとって戦争は、教科書の中でのできごと、歴史のひとつコマに過ぎず、自分たちに振りかかったものではないと思っていました。今回、旧満州開拓地の訪問にあたり、戦争は確実に自分たちに影響し、沈黙の戦争体験者の中で暮らしていることに気づきました。

第二次東柳毛溝等調査団員 桂川憲生（林務商工課振興係主査） 手記

三つの目的を胸に

調査団結成

《出発》今回の調査団の結成は、
①満州開拓地「東柳毛溝」の住居跡地の確認。
②中国残留孤児安江宏子さん訪問。
③敗戦と同時に強制労働の場となった鶴岡炭坑の慰霊。

この三つの目的を持って、戦後五十年に節目を付けるための訪中となりました。

訪中は、九月五日から十一日間、安江久夫さん（平）を団長に、栃山の笹俣俊夫さんと私の三名のミニ調査団となりました。小人数でしたが、私たちのほか昨年からの戦争

体験をドキュメンタリー番組として収録中の東海テレビの撮影班三名も同行。

六年前、久夫さんと俊夫さんは旧満州開拓地「東柳毛溝」で亡くなりました。二十三名の慰霊のため訪中しています。しかし、その時は、夜であり滞在時間わずか三十分ということもあって、当時暮らした場所すら確認できなかったため今回の訪中となったのです。

ただっ広い平原……

旧満州開拓地「東柳毛溝」

その場所は、東白川村から北北西、直線距離にして一六二五メートルの位置にあります。訪問の時期は、九月にもかわらず、朝夕の冷え込みはけっこうなものでした。名古屋から飛行機で北京まで三時間。北京からは中国北方航空で一時間半をかけハル



—第2次東柳毛溝等調査団—

前列左から 桂川憲生、笹俣俊夫さん、安江久夫団長、東海テレビ阿武野氏
後列左から 東海テレビ安藤氏、岩井氏

ビンへ。そして鉄道で六時間。さらに車で三時間で東柳毛溝へ着きます。そこへは、途中ハルビンで一泊しなければならず、到着までに二日間を要する非常に遠い場所でした。
「五十年にも前にどうしてこんな遠くへ来なければならなかったのか。現地でのあまりの辺境さにその疑問はますます深まることになります。」

九月七日、いよいよ東柳毛溝へ。

初めて訪れた私は出発前に皆さんから話を聞いて、あれこれ想像はしていましたが、東柳毛溝が近づくにつれて、中国独特のにおい、ただっ広



ささやかに慰霊



紅星農場21隊のようす

翌九日には、既に収穫の終わった
広大な小麦畑の本部集落跡地でさ
やかな慰霊を挙
行。東海テレビ
のスタッフも私
もその場でタイ
ムスリップした
かのように熱い
ものがこみあげ
ていました。
現在の東柳毛
溝は、政府直轄
の「紅星農場」

い平原など、全く今まで体験したこ
とのない情景に心臓が高鳴りました。
この日は、当時橋長が五〇戸もあ
った「白川橋」という名の大きな木
造橋の調査から始ま
りました。現在は橋
の跡すらありません
が、場所を知ってい
るといふ農夫と会う
ことができ、その位
置から開拓当時の住
居跡の場所を探るこ
とになったのです。
翌日には、農作業
中に出てきたという「かまどのふた」
「農具」などを保管していた人が現
れ、その発掘場所から、正確な本部
集落、第二、三集落の位置を確認す
ることができました。



50年前の「かまどのふた」が世にきた

という名の農業組織の農地となっ
ています。その農地の端は、向こ
うが霞んで見えないほど、大変広大な
土地です。生活水準からは、想像もつ
かないほど農業は機械化され、大型機
械を使って耕されていました。米、麦、
大豆などの作付けがされてお
り、道路には穀物を満載した
トラックの往来もかなり見ら
れ、この時期には豊かな穀倉
地帯といった印象でした。

肌で感じた 文化の違い

基本的には中国人は、自分た
ちの排泄物をあまり不浄なも
のとは考えていないようです。

東柳毛溝の入り口の町、「趙光」では、
町の公衆便所しかなく銭湯の湯ぶねに
板をわたしただけのようないたって簡
単なつくりのもの。向こうの人々の気
遣いからか、滞在当日は、石灰のよう
なものをたくさんまいてくれましたが、
中仕切りも無く、結局用を足すことが
できませんでした。次回紹介すること
になります。この後訪問した村出身
の中国残留日本人安江宏子さんの家の
ものも、近所三十戸ほどの共同便所。
共同といっても、畑の中に三尺四角
の穴を掘り、周囲を板で少々囲んだだ
けという簡素なもので、雨の日は、傘
をさしながらということでした。

紅星農場のほか、日本人向けのホテ
ル以外には風呂がありません。「じゃ

あ風呂には入らないのか」と尋ねてみ
ると「入らない」とあっさりしたもの
でした。

私たち一行は、結局四日間着たり
省の状態。この地方の人たちは、夏に行
水を数回行うほかは、体を拭く程度と
いう話でした。最も中国東北部の寒い
地域だけの話かもしれません。
安江宏子さんがこんな話を聞かせて
くれました。「中国は百年たっても日
本には追いつけません」。

出発前にも、三十年遅れているとか、
五十年遅れているといった話を聞きま
したが、便所でも風呂でもそれは、中
国の文化の一端であり、比
較してみてもあまり意味の
ないことではないでしょう
か。

今、自分たちに いえること

五十年前、開拓団長とし
て陣頭に立たれた故今井好
夫氏は、満州開拓総局から、
東白川の入植場所が「北安
省通北県柳毛溝」との発表
に「実に心外です」と白寿
一号に書いておられます。

東柳毛溝の冬は長く、十
月始めから氷結し、翌年三
月までは何もできない厳寒
の地。他の開拓地と比べ、
極めて条件が悪い土地だっ
たことに加え、電気なしの

夜や医者なしの子育てなど、満たされ
た環境の中で生活を送る私たちでは想
像も及びません。

戦争は、民俗共和・王道樂土建設に
よる満州移民をもたらし、敗戦により
引き上げ、さらに東白川で第二の開拓
を強いる結果となりました。

同行中、久夫さん、俊夫さんから開
拓の話や抑留の話をじっくり伺いまし
た。戦争を知らない私たちには、話は
聞けても一言も返す言葉が見つかりま
せん。ただ百九家族三百六十九名の満
州移民の皆様、本当に本当にご著勞
様でした。

解説 満州開拓とは…

「満州」というのは、今の中国東北部のことだ
す。

今からおおよそ六十年前の昭和初期、世界的な経
済不況がおとずれました。それが長引くにつれて、
日本も失業者の増大、深刻な農村不況に耐えかね、
国外進出によってこれを打開しようと、武力を背
景に中国東北部に満州という国を作ったのです。

このころの東白川村は、生糸価格の大暴落で養
蚕業が大きな打撃を受け、農家は莫大な負債を抱
え、村全体が不況のどん底に沈んでいました。

このように不況にあえぐ日本各地の農民を満州
に送り込み食糧生産による自活と国力増強をめざ
したのが当時の日本政府の満州移民政策でした。

東白川村からは昭和十八年から三年にわたって
百九家族、三百六十余名が移住し、敗戦によって
大きな犠牲をはらって引揚げて来しました。



「息もピッタリ。」「長縄跳び選手権」



「こんなどこにも転がってる。」「ほのほの玉入れ」

運動会 アルバム

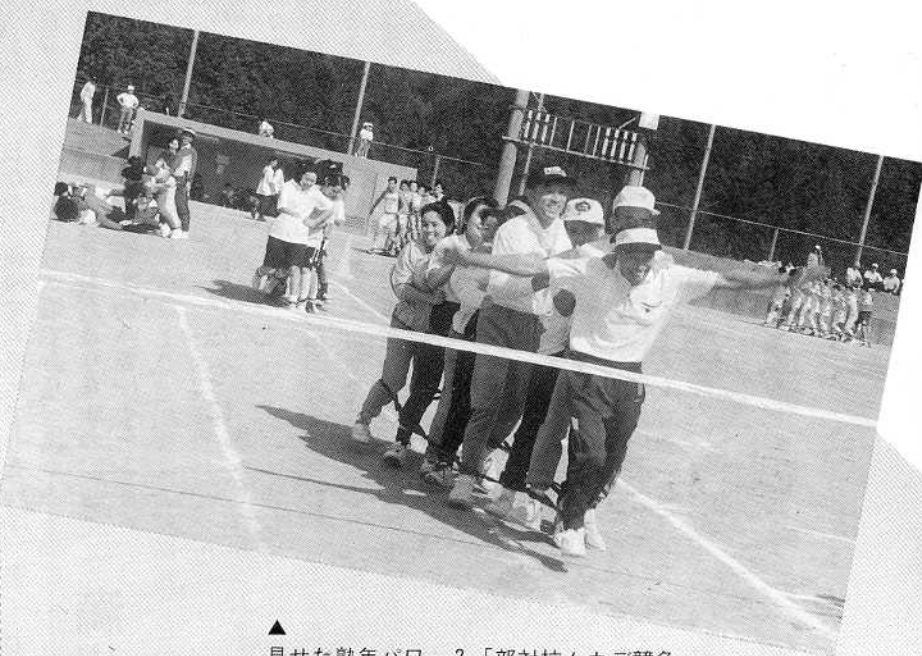


ちびっこのお楽しみは「ごほうびの時間」

「4年に1度のスポーツの祭典、といえは何ととっても村民運動会。

今回で9回目となる村民運動会が、10月9日総合運動場で行われ、1500人を超える皆さんが参加しました。

平成3年に総合運動場を整備して初めてとなった今大会。当日は、お天気にも恵まれて、絶好のスポーツ日和。対抗色の強い競技から工夫を凝らしたレクリエーションまで20種目を数えた競技に参加した皆さんは、スポーツの秋を満喫しました。



▲ 見せた熟年パワー？「部対抗ムカデ競争」



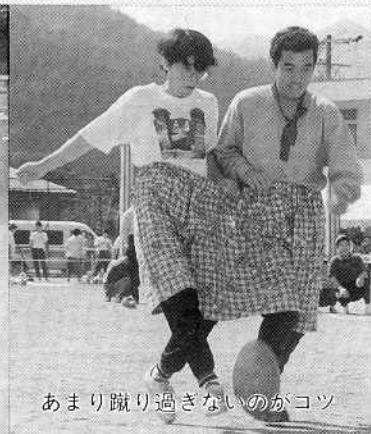
ホラ！左足を先に出さなきゃ…



せーのヨイショ、コラショっと



せっかくの男前が…



あまり蹴り過ぎないのがコツ



“思ったように運べないヨ…。「大玉送り」



田口清隆さん・安江里枝子さんによる
さわやかな選手宣誓

10.9 村民



練習の成果を披露「鼓笛パレード」



各地区の声援を背に…「年代別リレー」



“あんまりとばすなよ……。「中学校ムカデ競争」



「大綱引き合戦」には両軍合わせて約500人が参加

おし せ ら

こんにちは
社協です

今年も産業祭会場に、介護する方、受ける方のための「福祉器具・介護用品展示コーナー」を設けます。ベッド、ポータブルトイレ、おむつ、杖など身近なものから専門器具まで取りそろえ、幅広く皆さんにご紹介できるように計画しています。

年に一度の機会ですので、お気軽にお立ち寄り下さい。

加茂警察署から 「犯罪捜査」にご協力を

犯罪の増加傾向が続く中で、平成五年の刑法犯認知件数は一八〇万件を超え、戦後最高を記録しました。また、重要凶悪犯罪が多発するとともに、犯行の悪質化、巧妙化、広域化、スピード化は一層進んでおります。

一方で、大量生産、大量流通の一般化が著しいため、犯行現場に遺留された物など事件と関係ある物から犯人を割り出すいわゆる「物から捜査」も難しくなっておりますので犯人を検挙し、事件を解決するためには、地域住民の皆さんの犯罪捜査に対するご理解とご協力は欠かすことができないものとなっております。

そこで、村民の皆さんに、次の点を中心にして、犯罪捜査に対するご協力をお願い致します。

- ①「事件かな？」と思ったら迷わず一〇番を！
- ②犯罪について知っているこ

とは積極的に通報を！

- ③聞き込み捜査にご協力を！
- ④被害にあったときは必ず届け出を！
- ⑤指名手配犯人検挙にご協力を！

「花フェスタ'95ぎふ」自主 イベント参加者募集

来年四月二十六日から六月四日まで、可児公園で開催する花フェスタ'95ぎふの会場内各ゾーンに設けるステージなどで、自主企画のイベントに出演していただける個人・団体を募集します。

【応募期間】平成六年十二月十六日（金）まで

【応募方法】花フェスタ'95実行委員会へ電話にて申し込み

【募集条件】▼経費負担 出演者の負担（出演者・機材搬入スタッフの入場料や会場使用料は無料）▼実施期間 一

ステージあたり二回公演以上（内容により一回公演も可）

▼機材 出演者持ち込み（電源、簡易放送設備等は実行委員会準備）▼募集数 一二〇

団体及び個人

【発表例】アマチュアバンド、コーラス、竹細工教室、マジックショー、演武など

【決定】出演の可否を審査し、申し込み者に通知。

【照会先】花フェスタ'95実行委員会催事課 ☎〇五七四（六一）一八七〇、一八七一（問い合わせ時間は午前九時～午後五時まで）

NTTから お知らせとお願い

NTTでは、新サービスを提供するため、十一月二十四日（木）午後〇時十五分から東白川村の交換機をすべて、新型交換機へ切り替えます。

この切り替え時は、電話の発信、着信ができなくなりま

すのでよろしく願います。

【切り替え日時】平成六年十一月二十四日（木）午後〇時十五分から（約五分間）

【新サービス】①テレビジョン：夜間・休日通話割引②テレワイズ：市外通話二四時間割引③料金明細内訳サービス



伸びよう伸ばそう青少年

—11月是全国青少年健全育成強調月間—

保健婦だより

風邪にかからないために！
今年からインフルエンザが、集団接種から任意接種に変わりました。そこで風邪をひかないためにはどうしたらよいのか？
まず、薄着の癖をつけること。もう一つは、皮膚の鍛練。皮膚の鍛練は、自律神経の働きを強くする作用があるので、少しくらの気温の変化があってもへっちゃら。そうなれば気温の変化で体調を崩したりしません。
また、鼻やのどの粘膜にウイルスが飛び込んできても増殖しにくくなるというわれています。

産業祭にご家族そろってお出掛けを

テーマは「田舎再発見！」。
来る十一月二十日、東白川小学校において「東白川村産業祭」が開催されます。
今年で十五回を数える産業祭。今回も体育館と駐車場の二会場で盛りだくさんの催しを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。
さて、今年の内容ですが、まず、屋内では、毎年恒例の農産物品評会をはじめ、「お茶まつり」、「二十一世紀に伝えよう養蚕」絹文化やアニメビデオ上映会など、「見る」催しを中心なら、屋外では、すっかりおなじみとなった「大鍋まつり」。今回は、「しし鍋」、「鮎ぞうすい」、「松茸ぞうすい」に加え、中身は秘密の「なんだろうな鍋」、それぞれ三百食を用意。また、新企画の小動物園、乗馬コーナー、さらに午後二時からは、豪華景品が当たる大ビンゴ大会など「食べる」、「参加する」催しが目白押し。
あなたは「見る派」、「食べる派」それとも「参加派」？
「秋の実りの感謝祭」にご家族そろってお出掛け下さい。

中学校の写真をお持ちの方へ

東白川中学校では、学校改築にあたり、行事や活動の写真を保管するため、中学校に關係する写真やネガを集めています。皆さんのお手持ちの写真の中に授業風景や給食風景、文化祭、体育大会などの写真がございましたら、お貸しいただかないでしょうか。
なお、お借りしたものは、新たに撮り直したうえで責任を持って返却いたします。
詳しくは、中学校（有線二二四一）までお願いします。

“もう一度働きたい”女性のための技術講習

“もう一度働きたい女性”のための技術講習「ワープロ」を開催します。
【期間】平成七年一月九日～二月十三日（毎週、月・火・木・金の二十一日間）【場所】美濃加茂中央公民館【定員】二十名【内容】ワープロの初歩的操作習得【受講料】無料（但し、教材費などは自己負担）【申し込み】十二月十五日、十六日の午前十時～午後四時に美濃加茂市役所玄関ロビーへお越し下さい。

国民年金保険料を口座振替にしませんか

※詳細は、県女性就業促進センター ☎〇五八（二六四）一〇一一（内線）三七二まで。
年齢や気持ち若いが若い人ほど、つい忘れがちなのが「やがて自分も年をとる」という事実。ますます長くなる老後の安心のために国民年金保険料を正しく納めていただくことは大切です。保険料の納め忘れを防ぐために金融機関の口座振替をおすすめします。
詳しくは、役場住民課（有線二二六一）まで。

けいじばん

【戸籍】（敬称略）

●誕生おめでとございます

（日向）＝伊藤 保夫 } 大輔（長男）
久仁子 }

●いつまでもおしあわせに

（青山 昭広（平）
森 知美（金山町）

●おくやみ申し上げます

小池 肇 70歳（平）
古田 京三 85歳（平）
栗本まさゑ 84歳（柏本）
今井 末子 72歳（大沢）

【善意】

【中学校建設指定寄付】

現金100万円＝鈴木哲彦（愛知県海部郡立田村）

【社会福祉施設整備指定寄付】

現金20万円＝安江啓次（神付）

現金 5万円＝栗本棲夫（柏本）

【社会福祉協議会へ】

四輪歩行器2台＝村雲勇市（曲坂）

現金10万円＝古田勝彦（平）

現金10万円＝匿名

タオルたくさん＝樋口たか（中通）

【東白川小学校へ】

産経新聞ニュース（1年分）＝安江忠昭（陰地）

【神土保育園へ】

いも＝田口貞造（中通）

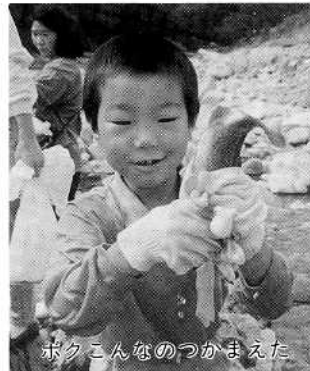
【五加保育園へ】

子ども用お話しビデオ10巻＝安江建材（柏本）

TOPICS

競う

今年の参加者350人
恒例のマス釣り大会



赤くこんなのつかまえた

秋の恒例行事としてすっかり定着した「清流マス釣り大会」。

今年も十月十六日、五加地区で行われ、遠くは静岡か

らという人も含め約三百五十人が参加しました。この大会の目玉といったら何といっても五〇級の超大物釣りです。この日、大物賞一位穂積町の安達進さんは、何と六四〇の超大物を見事釣り上げました。また、ちびっこの人気が集めたのは「マスつかみ」です。浅瀬に作った特設会場は、上へ下への大騒ぎとなりました。昨年からは始まったラッキー抽選会は、好評につき今回も実施。松茸二万円相当や米十きなど豪華華景品が当たるにあつて今年も大好評。悪天候だったものの最後まで盛り上がり上がった大会でした。



下野橋の下は好ポイント

逢う

青年フォーラム秋の陣
期待されますその成果

若者たちの出会いの場を提供してきた「青年フォーラム」。これまでに八回を数え、この会での出会いからゴールインしたカップルも誕生していますが、去る十月二十三日、その九回目を実施され、白川町と東白川村から男性二十四人、女性十九人の四十三名が参加しました。

今回は、三重県の長島スパーランド日帰りツアーです。この会の「仕掛け役」ともいえる企画を行っているのは、白川と東白川の若者十九人からなる「青年フォーラム企画委員会」。両町村の社会福祉協議会を事務局にして、これまでにスキーやボウリング、クリスマス会などいろいろ趣向を凝らし行ってきましたが、会の実施にあたって一番の悩みは、どうしたらもつとたくさんの人に参加してもらえるか、だそうです。

役員の一人は「参加者からは好評なので、参加したことのない人も「結婚」とかを意識するんじゃないか、視野を広める意味で気軽に参加して欲しい。絶対楽しい内容ですから」と話してくれました。



食事の時間は少々緊張さみ

移す

ご迷惑をおかけしますが
立ち退いていただきます



小魚はバケツで放流

現在、中学校上から病院の手前までの道路では、歩道が設けるための工事が行われています。この工事は、道路の山側に歩道を付けるため車道を川側へ移すもの。このために一部川が埋め立てられることになりました。

十月二十六日、この工事に先立って、工事を請け負う山田土建の皆さんが、水替えのため工事区域の川をせき止め、ポンプで水をくみ出して本流へ魚を移す作業を行いました。

この工事区域の堰上は禁漁区。水をくみ出したところ、そこは魚の宝庫。中には、オオサンショウウオが四匹いたほか記録には届かなかったものの九五センチというギネス級のウナギ、びっくりするような大きさの川ゴイやナマズ、変わったところではカメなどもおり、大小合わせて数千匹を一時保護し、本流へと逃がしました。



一面魚の宝庫

話題集まれ!

スポーツの秋と芸術の秋 一挙両得の健康ウォーキング



高篠林道入口にて

去る十月十六日と十月二十六日「健康ウォーキング」が行われ、二日間に三十二人が参加しました。十六日は、美濃市の瓢ヶ岳を登頂。標高一一六二・六メートルの山は、武儀郡と郡上郡の境界をなす山系の主峰で、晴れた日なら頂上へ登るまでに恵那山や御嶽山、大日岳、白山、伊吹山などを見ることができ、頂上では、伊勢湾も望めるという名勝。道中には「胸突き八丁」の急坂もありますが、約五・五*の道のりを全員無事踏破。当日は、曇りがちで残念ながら連山を見られませんでした。色づきかけた山々は、疲れをいやすのに十分な景観でした。

また、二十日からは、日向から高篠林道を通って曲坂へ抜ける林道散策。次回は、大山白山神社へ登る予定です。



頂上で記念撮影、疲れも忘れハイチーズ!

蹴る めざすは未来のJリーグ サッカー教室に35人が汗

昨年始まり、一躍大ブームとなったサッカーのJリーグ。二年目の今年もその人気はますます加熱しているようですが、高まるサッカー熱は、子どもたちにも大きく広がっています。十一月四日、夜七時三十分から小学校三年生から中学二年生までを対象にした「サッカー教室」が行われました。

この教室は、村体育協会のサッカー部の協力で十一月中に四回の予定で実施されたもの。当初三十人の予定で募集を行ったところ、何と小学生三十一人、中学生が六人の合計三十七人が参加。広島で行われたアジア大会での女子サッカーの活躍は記憶に新しいところですが、参加者の中には日向の松岡志乃さん(五年生)も女の子でただ一人名前を連ねるなどサッカーの人気ぶりが伺えます。

練習は、基本的なキックとシュートが中心。気温五度という寒い中でしたが、東白川FCクラブのみなさんの指導で汗をにじませボールを追っていました。



気分はすっかりJリーガー

実る 見事な演技に拍手かっさい はなのき会館で東中文化祭



いじめをテーマにした3Aの「最高の仲間」

十月三十日東白川中学校文化祭が、はなのき会館で行われ、父兄など集まった百人を超える観客を前に生徒たちが練習の成果を発表しました。今年の文化祭、はなのき会館で初めてということもあって、十月いっ

ばいをかけ放課後を利用し、行われた練習にも、会場が今までと違い離れているためいろいろな苦労があったようです。例えば舞台装置。学校で大きなものを作っても運ぶことができないため、今年は極力大道具を減らしその分、役者の練習に力を入れたとか。

そのかいあってか、舞台には持ち運び可能な机やイスなどの小道具以外はほとんどなかったものの生徒たちの素晴らしい演技は、観衆を魅了するのに十分でした。



原稿をテーマにした3Bの「戦争は終わらない」



村民運動会より

今月の笑顔さん

みんなが公園…のよつなページ

東白川賛歌／新村民から「挨拶」にかえて

渡辺 洋久（日向）

十月二日、さわやかな日曜日、早朝、大阪からやって来ました。新居は日向の山下荘。

この数年、田園の生活を旨し、適地を求め各地を駆けまわった。以前白川沿いを車で走ったが、うかつにもここを見過ごした。この夏、役場を訪れ、村長さん他から「自然環境を大事にする村」と聞き、更めて村内をつぶさに見てまわり、環境、景観の良さに驚く。「理想郷に逢えた」そう思った。実のところ、下呂や飛騨の他の町村で、私の転入に積極的な協力の申し出を頂いた。また、兵庫県や四国の町村でも熱心なお誘いがあった。それもこれも「東白川」に出会って私の関心から消えてしまった。

清澄な白川の流れ、未知の奥深さを思わせる連なる山々。何よりも日々接する人たちの親切な心づかい、応接。そんな中に身を置く安息感は何にも代え難い。ここを永住の地とし、新しい農業を目指そう。そう決意した。

しかし、問題があった。適当な農地が見つからない。役場や農業委員会でお骨折り頂いているが、メドはなお遠い。だが、この地で新農業人として生きる道を何とか開きたい。皆様のご理解とお力を頂けることを心から願っています。

お便り

職場から

山口工業



「うちは、本当に明るい職場なんですよ」と話してくれたのは工場主の山口直視さん。

今月は、五加の山口工業へお邪魔しました。

この七月から二つめの工場が下野で稼働した山口工業。アメリカから輸入された外材を使って住宅部材となる集成材を作っています。完成品は、セブン工業などへと出荷されるとのこと。

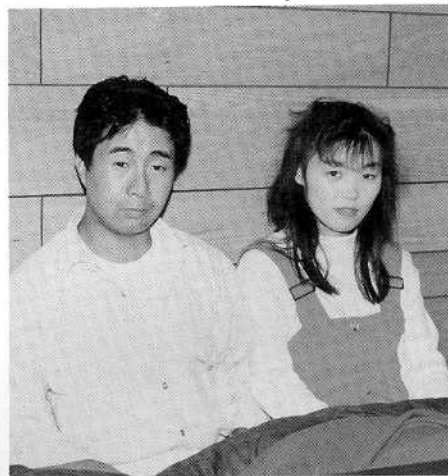
現在、従業員は、パートの方や中国からの二名の研修生を含め十八人。山口さんは、「この業界は景気の波の影響を受けやすい。木造住宅の低価格化は進んでいますから、今後は例えば手間を省くことなどを考えていくことが大切になってくるでしょうね」と話してくれました。



▲安江慶紘くん
(孝洋さん・章江さん
長男11歳)

このコーナーの子どもたちみな同年。
10年後、20年後「広報」をみればわう！
1歳のあの子の顔が……

20周年 ツーショット 新婚さん



早瀬忠司さん・道予さん（神付）

「十一月四日に結婚式」。今月は、神付に誕生した新婚ホヤホヤのお二人、早瀬忠司さん、道予さんご夫妻を紹介しします。

奥さん道予さんはお隣の加子母村ご出身。お二人の出会いのきっかけとなったのは、お互いの知り合いからの紹介だったとか。

交際が始まって約一年でゴールインとなったそうですが、付き合いはじめて二、三か月後には、お二人ともに「結婚」を考えていたとのこと。

「二人とも少し気の短いところがあって、似たもの同志という感じですね」というご主人に、「会うときはいつも口げんかになったりしたんですよ」と奥さん。それでも「かわいいところが気に入りました」と照れながら話してくれたご主人。お子さんについては、最初が男の子で三人くらいがご希望とのこと。

お二人のやりとりを聞いているうちにこちらまでほほ笑んでしまうようなホッとなお二人です。

今月のことば

樹木は生育の場所を自分で変えられない。そのため自身を外敵から守るため、特有の揮発物質を大気中にに出している。これが森林の香りの正体だ。

（ソ連・トーキン博士）



稲荷堂の石灯籠

「古老の語るところによるとその昔「かしや」という蛇のよなものが棲んでいたというがその決め手はない。ただ天正検地の際「かしあを村」と表記したものが見られることから、あるいは柏などの樹に関係した地名かもしれない」（「新修東白川村誌」通史編より）。

地名の由来が、はつきりとわからないとされている加舎尾地区。この地の稲荷堂には、元文五年（一七四〇）に建立された石灯籠があります。今から二五〇年以上前に建てられたものですが、ほとんど風化もなくしっかりとした形を保っています。



図書室発・あなたへ



マディソン郡の橋
ロバートJ・ウィラー著

はたして不倫か、純愛か、ロバートとフランチェスカが共に過ごした時間は、一生のうちでわずか（四日間）。でも二人にとっては貴重な時だったのです。

このふたりのほかない恋物語がもしかしたら遠い思い出と重なる人がいるかもしれない。なぜならば、これはあなた自身の物語だからです。

ホットアングル

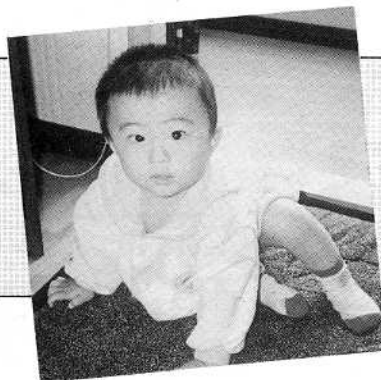


今年で6回目となる林業体験学習が10月5日、後山分収造林で行われ、東白川中学2年生50人が参加。間伐作業にチャレンジしました。

子どもたちに山の良さを知ってもらおうと林業グループが主催し行っているこの試み。願いは林業後継者づくりです。



▶田口浩太郎くん
（浩由さん・尚代さん
長男・大明神）



わが家のスター

半袖の跡を残して日に焼けし腕に走る太き青筋

安江 香

亡き妻の植えしコスモスこの年も畑一面にとりどりに咲く

安江 化平

八重桜の古木を裂きて過ぎ去りし台風を憎み呆然と佇つ

安江 澄

水落ちし稲田を渡る風涼し夏の終りを秋のはじめへ

安江嘉久一

遠き日に幼き女工の往来せし野麦峠の秋のさぶしさ

今井 かな

○病床の老夫に変わって大根播く流るる汗の目にはしみつつ

三戸 きり

訪ひし友が家の庭青芝に実るぶどうの紫の房

安江 龍玉

資料館にスライドまじえ聞きにけり女工哀史の媼の語り

安江 節子

夕ざれば常の如くにかよい来る小狸愛らし鱒池に座す

早瀬 久子

○来年も着られるだろうか折りつつ夏の単衣のほころびを縫う 安江とくよ

○生も死も所詮は一人我が夢の夢ゆさぶれる秋の風立ち

小林 道子

猪に稲田荒され防護棚付けれどむなし今朝の爪跡

安江 順子

朝より夕犬の散歩の万歩計数歩ちがうは心のゆとり

若井 信江

○老年に読まむと買ひし戦争史読みかけしままに主は逝きたり

若井 清美

台風の道らし昔伊勢湾へ上陸した時思ふ新たに

安江すみよ

この夏の過ぎし暑さを偲びつつ恋しみ思ふ中秋の月

安江 守平

○水不足野菜の不出来も何んのその我が世とばかり成るどて南瓜

田口かずみ

○疾走する大きトラック道の端の吾が薄髪を逆立て行きぬ

伊藤 美枝

古暦「萬年大雑書」見付かりぬ元禄版は僅少の古書と

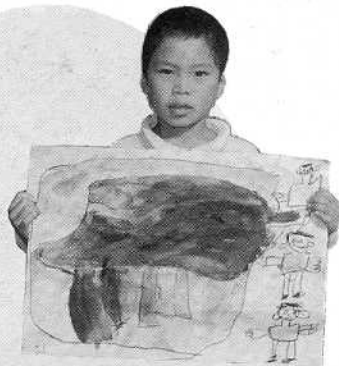
伊藤 重雄

あなたも作品をお寄せください●偶数月の二十日までに神主伊藤重雄宛に出してください。

発表の作品



▲「バスえんそく」
五加保育園
たぐちあやかちゃん(下野)



▲「バスえんそく」
五加保育園
いまいひろまさくん(下野)



▲「ぼくのリュック」
東白川小学校1年生
古田将之さん
(柏本)



▲「きつねのまど」を読んで
東白川小学校5年生
稲垣 靖さん
(陰地)



▲「北の空へ」を読んで
東白川小学校6年生
今井智恵美さん(大沢)



▲「おしろ」
東白川小学校3年生
島倉由起子さん(宮代)



「リーグが二年目を迎え、まだまだサッカーチームも

衰えを知らない。我が東白川村もそれに劣らず、小中学生のサッカー人気はすざましいものがある。▼我が家の三歳の息子もすっかりサッカーづけ、リーグ十二チームのキヤラクターマークを全部覚え、スパーへつれていけば、もう大変、「あつ、ベルデー」「あつ、サンフレッチェ」などとかましい。ふりかけやアイスクリーム、シャンプーなどにいたるまで、よくもまあ、これだけリーグのマークがあふれたものだ。▼サッカー人気が高くなることはうれしいことだが、どうにもグランパスは負けてばかりでいやになる。▼しかし、人のやるサッカーを見ながら、がっかりしたり、喜んだりするのも考えてみれば妙なものである。▼イタリアの成人男性にとって一番大切なものは、サッカーだそうである。ちなみに日本では仕事なのである。(H)